

1 「あ・そ・ぼ」やで!



- ① くすのきしげのり/作
ここの史代/絵
- ② くもん出版
- ③ 1200円
- ④ E

フランスから日本の学校に転校してきたユキちゃんですが、初めて学校に来た日、うまくなじめませんでした。「もう絶対、誰とも話さない。」と決めたユキちゃんに男の子が声をかけます。転校した子のどきどき感と、友だちの優しい気持ち伝わる本です。

2 いえでをしたくなかったので



- ① リーゼレ・モーク・スコopen/文
ドリス・バーン/絵
松井るり子/訳
- ② ほるぷ出版
- ③ 1500円
- ④ E

家にいるのがいやになった4人の子どもたち。大きな木や池、洞窟などあちこちに引越して、最後にたどり着いた場所は…。4人の子どもたちが冒険したいという気持ちを持ちながら、引越しをしていきます。モノクロの絵が読む人の情景の想像を掻き立ててくれます。

3 黄金の夏休み



- ① 最上一平/作
伊藤秀男/絵
- ② 文溪堂
- ③ 1500円
- ④ E

お母さんの生まれた家、大沼での夏。そこで、男の子が昔ながらの日本の原風景と大自然を味わいながら様々な体験をします。身近な大好きな人とこんな夏を過ごしてみたい!と思わせてくれるような体験と情景が、鮮やかな絵とともに蘇ってくる本です。

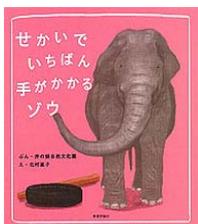
4 おはなしばあさんと風来坊



- ① 川端誠/作・絵
- ② B L 出版
- ③ 1400円
- ④ E

木彫りの風来坊が村はずれの農家に泊めてもらうことになりました。その家に住んでいるばあさんは、へんくつで「かみなりばば」と呼ばれていました。以前は昔話の得意な優しいばあさんだったと聞いた風来坊は…。世直しをして回る風来坊の心温まるお話です。

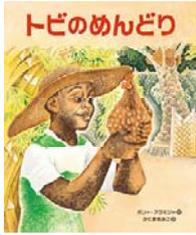
5 せかいでいちばん 手がかかるゾウ



- ① 井の頭自然文化園/ぶん
北村直子/え
- ② 教育評論社
- ③ 1400円
- ④ E

井の頭自然文化園にいるおばあさんゾウの「はな子」は、世界で一番手がかかるゾウと言われています。その理由は…。飼育員さんのえさ作りの努力や「はな子」を思いやる気持ちが伝わってきます。動物園に行くと、「はな子」に会いたくなる一冊です。

6 トビのめんどり



- ① ポリー・アラキジャ/作
さくまゆみこ/訳
- ② さ・え・ら書房
- ③ 1500円
- ④ E

アフリカを舞台にしたお話。トビはめんどりを飼っています。トビの友達も犬や牛、ヤギ、ぶたなどいろいろな動物を飼っています。トビのめんどりの産む卵の数を数える楽しさが、カラフルな色使いで描かれています。

7 トーラとパパの夏休み



- ① リーサ・モローニ/文
エヴァ・エリクソン/絵
菱木晃子/訳
- ② あすなる書房
- ③ 1300円
- ④ E

いつもパソコンとにらめっこでトーラの相手をしてくれないパパ。そんなパパとトーラは待ちに待った夏休みを森で過ごすこととなります。想像力豊かな少女トーラと一緒にあなたも冒険してみませんか。北欧の絵本です。

8 ハッピー、ラッキー ヤギダンス



- ① 長谷川知子/ぶん・え
- ② 新日本出版社
- ③ 1400円
- ④ E

都心の小学校で飼うことになったヤギ、ハッピーとラッキー。夜になって誰もいなくなると何日も鳴き続けています。寂しいのではないかと気付いた子どもたちはいろいろ世話をやき…。ヤギダンスを見せてくれるようになります。本当にあったお話です。

9 ふしぎなともだち



- ① たじまゆきひこ/作
- ② くもん出版
- ③ 1500円
- ④ E

島へ引っ越してきた小学2年生のゆうすけは自閉症のやっくんに出会います。小学校、中学校とずっと一緒です。そして大人になって同じ町で働くようになって。「ことばではなしができないのに心がわかりあえる（本文中）」そんなふしぎなともだちです。

10 へいわってすてきだね



- ① 安里有生/詩
長谷川義史/画
- ② ブロンズ新社
- ③ 1400円
- ④ E

与那国島の小学1年生安里くんの詩をもとにえがかれた絵本です。素直で力強い平和への思いを長谷川さんの個性的なタッチの絵が後押ししています。「平和がずっとつづきますように。」という願いを描いて伝えなければならないという思いがこめられた絵本です。

11 こどもたちへ
まどさんからの手紙



- ① まどみちお/文
ささめやゆき/絵
- ② 講談社
- ③ 920円
- ④ 15マ014

まどさんが84歳のときに、母校の小学校へ送った手紙ですが、すべての子どもたちに向けて書かれた言葉となっています。まどさんからのメッセージが力強く伝わり勇気づけられます。生きる元氣がもらえる一冊です。

12 ウマがうんこした



- ① 福田幸広/しゃしん
ゆうきえつこ/ぶん
- ② そうえん社
- ③ 1200円
- ④ 49ユ014

宮崎県都井岬が舞台。大きな丘には、100頭くらいの馬が暮らしています。馬は一日中草を食べて暮らし、たくさんのうんこをします。馬のうんこを通して馬のことがわかり、生物への興味がわいてくると思います。

13 あひるの手紙



- ① 朽木祥/作
ささめやゆき/絵
- ② 佼成出版社
- ③ 1200円
- ④ 91ク014

便せんに書かれたたった一言の「あひる」の文字からはじまった手紙はしりとり文通となっていきます。このお話は、ある小学校に届いた手紙のエピソードをきっかけに書かれています。元気な一年生とけんいちくんの交流がほのぼのとして、やさしい気持ちにしてくれます。

14 たっくんのあさがお



- ① 西村友里/作
岡田千晶/絵
- ② PHP研究所
- ③ 1100円
- ④ 91ニ014

1年生になった友子は学校がとても楽しいのですが、となりの席のたっくんが、ちょっとこわいのです。ある日、みんなであさがおの種をまきました。ところが友子は、たっくんのうえきばちを倒してしまい…。友だちを思う心の動きが伝わり、最後には温かい気持ちになります。

15 とんだ、とべた、また とべた！



- ① 森山京/作
黒井健/絵
- ② ポプラ社
- ③ 1000円
- ④ 91モ014

リスのおじいさんがすむ木の下でクマの子がなわとびの練習をしていますが、どうしても5回しかとべません。最初はあきれいていたおじいさんでしたが、一生懸命なクマの子に思わず声をかけます。お互いを知らないままのふれあいと会話ですが、ほっと温まるお話です。

